MITSUBISHI

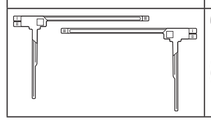
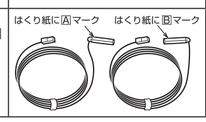
三菱カーナビゲーションシステム
形名
NR-MZ40 シリーズ
(TV アンテナ)

取付要領書

ご注意とお願い
- 取付および接続作業の前に別冊の取扱説明書「お客さまへ安全上のご注意」をお読みください。
- 取付および接続作業は本取付要領書をよくお読みの上、正しく行ってください。
- 作業終了後、お客さまへ本取付要領書をご返却ください。

同梱物リスト

万一、内容物に不足がございましたらお買い上げの販売店にご連絡をお願いいたします。
※イラストと内容物の形状が実際と異なる場合があります。

アンテナ (A)(B)	アンテナケーブル (A)(B)	クランパー × 6 クリーナー × 1
		

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3(東京ビル)
N871L69932_2/2 13-05(A2)

1 TV アンテナ取り付け作業前のご注意

- 貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。
- **車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。**
  - ◇ 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。
  - ◇ 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが故障ではありません。
- **必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。**
  - ◇ 保安基準※①に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。
  - ◇ 本製品はフロントウィンドウ専用です。車体の側面 (ドアやフロントクォーターウィンドウなど) や、後面 (リアウィンドウ) に貼り付けると、受信感度が低下する場合があります。
  - ◇ アンテナ表面保護用フィルムをはがした後、アンテナ貼付面には手を触れないでください。指紋やゴミが付着し、粘着力が低下します。
  - ◇ アンテナを接続する機器の説明書も併せてご覧ください。

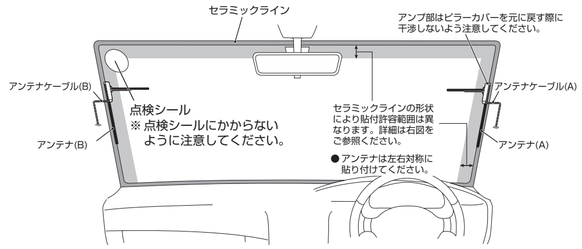
  ※① 保安基準は、道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 7 号に対する、平成 11 年 12 月 27 日付の運輸省 (当時) 告示第 820 号をいいます。
- **フロントピラーエアバッグ (カーテンエアバッグ) を装着した車両に取り付ける場合は、エアバッグ関連の取り扱いの教育を受けた専門技術者に依頼してください。**

注意事項
一度貼り付けてはがすと、粘着力が弱くなるため貼り直しができません。
必ずケーブルおよびアンテナを仮止めし、ケーブルの配線などを十分に検討してから貼り付けてください。

2 TV アンテナの貼り付け位置について

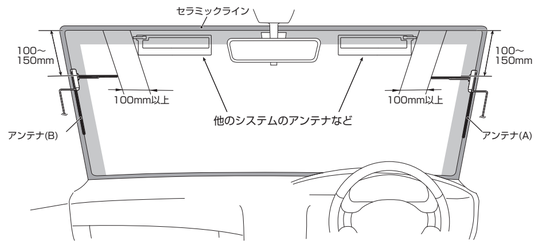
- 保安基準に適合させるため、また性能を十分発揮するために、アンプ部は必ず貼付許容範囲内の位置に貼り付けてください。
- 検査標章や点検シールと重ならないように貼り付けてください。
- 貼付許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らない場合や、整備不良の対象となる場合があります。

アンテナ貼付位置概要



他のアンテナと同時装着する場合

- 他のシステムのアンテナなどと同時装着する場合は、他のアンテナを 100㎜以上離して貼り付けてください。接近して貼り付けますと、受信感度が悪くなる恐れがあります。

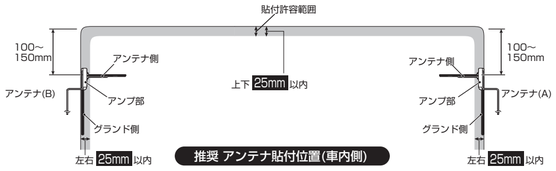


貼付位置詳細

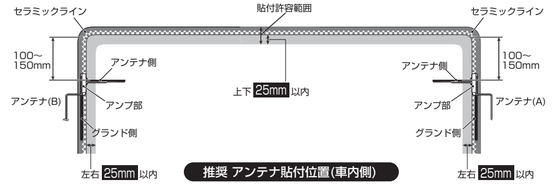
- 位置決めはアンテナ側を基準に寸法を確認してください。
- 貼付位置を確認後、車外から位置決めテープなどを貼り付けて (マーキング) 作業をしてください。

注意事項
※ アンプ部を板金側へ寄せすぎると、ピラーカバーを元に戻せない場合があります。

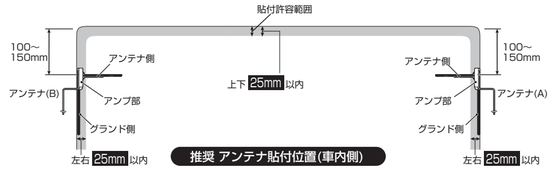
セラミックライン (ドットパターン無し) の境界がある場合



セラミックライン (ドットパターンあり) の境界が無い場合



セラミックラインが無い場合



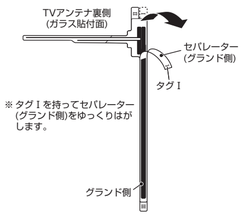
3 TV アンテナの貼り付けかた

1) 貼付部分を付属のクリーナーできれいにする
2) 乾拭きを行い、貼付部分をきれいに拭き取る
貼付部分は完全に乾いた状態にしてください。

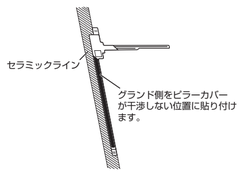
注意事項
※ 貼付部分が乾いていないと、アンテナ線が密着しません。
※ クリーナーは必ず付属のクリーナーを使用してください。界面活性剤入りのクリーナーを使用するとアンテナが貼り付かなくなります。
※ 冬場などはガラス面の結露などの水分をよく拭き取り、ガラス面、アンテナ自体を暖めてから作業を開始してください。

3) タグⅠを持ち、グランド側方向にセパレーターをゆっくりとはがす

注意事項
※ セパレーターを急にはがすと、グランド線を断線することがあります。また、極端にゆっくりはがすと、セパレーター側に残る原因となります。
※ セパレーターをはがすときは、強く折り曲げたりしないでください。
※ セパレーターをはがした後に、グランド線に触れたり、ものを当てたりして皮脂やホコリを付けないでください。

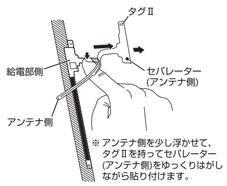


4) アンテナ (グランド側) を取付部分に貼り付ける
あらかじめテープなどでマーキングした位置にアンテナ (グランド側) を貼り付けます。



5) タグⅡを持ち、アンテナ側方向にセパレーターをゆっくりとはがしながら、給電部側より徐々に指などでアンテナ部分を押さえて貼り付ける

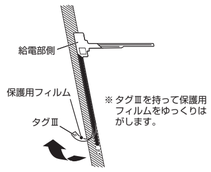
注意事項
※ セパレーターをはがしながら、アンテナ線を貼り付けます。途中で作業を止めたり、押さえる力を緩めたりすると、貼付面が白く濁る場合があるので十分注意して作業を行ってください。



6) アンテナ線、グランド線をフィルムの上から念入りに押し付けて貼付面に密着させる
アンテナ線、グランド線をなぞるように強く押して気泡が残らないように密着させてください。

注意事項
※ 押し付けが足りないと、アンテナが浮く場合や、はがれる原因となる場合があります。

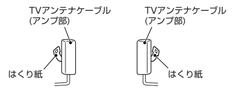
7) タグⅢを持ち、グランド側方向から保護用フィルムをゆっくりとはがす
アンテナ線、グランド線が確実に貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりとはがします。



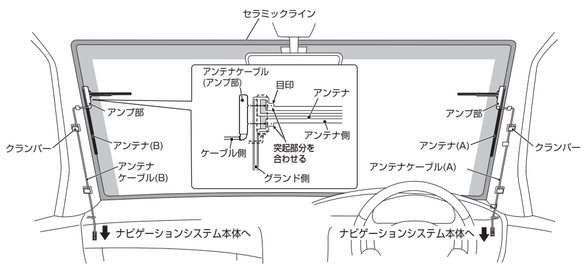
注意事項
※ タグⅢ部分以外からはがしたり、急にはがしたりしないでください。アンテナ線やグランド線が断線する原因となります。
※ アンテナの給電部には触れないでください。錆 (さび) の原因となります。
※ アンテナ貼り付け直後 (3 時間以内) は貼り付けたアンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、アンテナの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。
また、時間に関わらず、アンテナ上を直接拭くときは柔らかい布などを使用し、アンテナが傷付かないよう注意してください。

4 TV アンテナケーブルを配線する

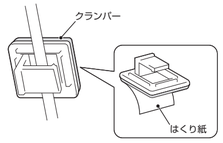
1) アンテナケーブルのアンプ部のはくり紙をはがす
2) アンプ部の突起部を、アンテナの目印に合わせて貼り付ける
アンプ部の貼り付け位置がずれると、アンテナの給電部の接触が悪くなり十分な性能が発揮できません。下図を参照し、正確に貼り付けてください。



注意事項
※ アンプ部がしっかりと貼り付くように、アンテナの給電部の周りをもう一度乾いた布などできれいに拭いてください。
※ アンプ部付近は、無理に引っ張ったり、折ったり、ねじるなど絶対にしないでください。



3) クランパーでアンテナケーブルを固定する
各 1 ケ所はクランパーでアンテナケーブルのアンプ部に近い位置で固定してください。残ったクランパーで要所を固定しながら配線を引き回してください。

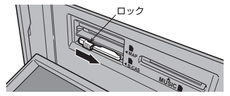


4) 内装 (ピラーカバー・ルーフライニング) を元通りに取り付ける

5 接続確認のしかた (動作チェック)

1) 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーを <ACC> または <ON> にする
2) miniB-CAS カードを入れる
① ▲ キーを押し モニター OPEN にタッチする
パネルが開きます。
② miniB-CAS カードを挿入する
ロックを外し、miniB-CAS カードの端子面を上にして「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。

③ロックする



注意事項
ロックをスライドさせる際に手・指のけがに注意してください。

④ ▲ キーを押しパネルを閉じる

注意事項
- miniB-CAS カードはパッケージを開封することで「B-CAS カード使用許諾約款」に同意したとみなされます。お客さまに確認の上、本機に miniB-CAS カードを挿入していただきますようお願いいたします。
- 本機専用の miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- 挿入の向きを確認してください。挿入方向を間違えると miniB-CAS カードが機能しません。
- 画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

3) ソースを DTV に切り換える
4) 初期設定を行い、地上デジタル放送が受信できることを確認する
初期設定については取扱説明書の < はじめてテレビを見るとき > をご参照ください。